

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	0	0	・基準を満たしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	0	0	・おひさまは子ども5人に対して支援者が3人の配置となっていて、基準は満たしている。管理者・児童発達支援管理責任者・指導員又は保育士を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	0	0	・放課後等デイサービスを利用する部屋、園庭、プレールーム、ボールプール等段差がなく、環境整備を年2回行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7	0	0	・今後も業務改善の一環で、職員全体がPDCAサイクルを意識して取り組めるようにしていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	0	・昨年度から評価表を保護者に配布し、集計・分析したうえで業務改善につなげている。今後も実施していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	0	・昨年度から実施している。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	0	・年2回、職員向け勉強会を事業所内で実施している。月1回の会議で子どもへの支援に関することや事例検討等も行っている。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6	1	0	・前もって保護者にニーズを記載する用紙を配布し、個別支援計画を作成するための面談に活用している。
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	0	0	・現在、SM社会生活能力検査を基本として、アセスメントシートを作成している。 ※1名、自己評価表に記載がなかった。
	10	活動プログラムの立案をスタッフと話し合っているか	7	0	0	・デイ会議等を通してレクリエーション活動の立案や内容、支援等を話し合っている。
	11	活動プログラムが集団や個別など、発達を考慮して工夫されているか	7	0	0	・レクリエーションの内容を適宜変えていたり、普段のデイの中でも季節に合わせた製作など取り入れている。
	12	季節に合った活動プログラムをきめ細やかに設定して支援しているか	7	0	0	・夏休み中は水遊びや感触遊び、土曜日は隔週の散歩を取り入れている。製作も季節に合わせて引き続き取り組んでいく。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて個別支援計画を作成しているか	7	0	0	・会のレクリエーションや自由遊びでの製作等、子どもの状況に応じ、個別支援計画に即した展開を行っている。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	0	0	・毎回綿密に子どもの状況を予想しながら打ち合わせを実施し、支援内容を確認したり、役割分担をしたりしている。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	0	0	・その日の子どもの姿や支援で気になったことは必ずその日のうちに確認し合うようにしている。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	0	・毎日個別の日誌を記録し、支援の検証や改善、年2回の支援の振り返りのまとめ等に活かしている。
	17	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	0	・全利用児に対して、半年に1回、モニタリングを実施し、個別支援計画を見直して作成している。
18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	7	0	0	・今年度はスタッフ間でガイドラインを年2回読み合わせ、基本活動の内容が意識できるよう勉強会を実施した。	
	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議等にはその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	0	・支援会議に正規職員が出席した実績がある。今後も必要に応じて出席する予定。
	20	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	3	0	・子どもの好きな遊びや過ごし方を学校に問い合わせたり、訪問した実績がある。 ・子どもの下校時刻の確認等は保護者に行っている。 ・来年度は1~2校、利用児の多い小学校に訪問する等して連携につなげていきたい。

関係機関や保護者との連携	21	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				※該当児なし。利用を希望する児がいる場合は要相談
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0	0	・大府市発達支援センターおひさまの卒園児も多く、通園部門と適宜情報共有を行っている。 ※1名、自己評価表に記載がなかった。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	0	・大府市発達支援センターおひさまの専門職から助言を得る機会がある。
	24	障害のない子どもと交流する機会があるか	5	1	1	・散歩先で地域の子どもと交流する機会はあるが、積極的に交流する機会はない。
	25	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	2	0	・自立支援協議会へはセンター長が参加している。 ・市内の放課後等デイサービス事業所連絡会を年3回実施して各事業所と情報交換する場を設けている。
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	0	0	・来所、帰所時に保護者と家庭や学校、他事業所の様子を聞いたり、問われた質問についてはできるだけ応えるようにしている。
	27	保護者に対して研修会のお知らせ等、保護者の対応力の向上を図る観点から支援を行っているか	5	2	0	・デイで使う部屋に保護者向け研修会の告知を行っている。
保護者への説明責任等	28	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	0	0	・契約時に重要事項説明書等を通し、説明を行っている。
	29	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	0	・主に来所・帰所時に、保護者からの質問や相談等にその都度応えている。
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	0	0	・苦情に関する説明は契約時に行っている。 ・おひさまの支援内容などに対する意見や要望、苦情等があった時は速やかに児童発達支援管理責任者や管理者と相談し、対応策を立てている。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2	0	・定期的な会報は発行していない。ホームページには年2回ほど放デイの様子を掲載している。また、毎月配布する利用日程用紙に、来月の調理や製作の日程、内容を告知している。今後は4ヶ月に1回のペースで放デイ便りを発行する予定。
	32	個人情報に十分注意しているか	7	0	0	・個人情報の守秘義務は契約時に説明している。職員間でも個人情報の守秘義務等を適宜伝えている。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	0	0	・子どもには視覚支援でスケジュールを伝えたり、写真や絵カードで要求や行きたい場所の意思を確認したり、紙に書いて伝えたりと、子どもに分かるような支援ツールを使用している。保護者へは来所・帰所時にコミュニケーションを図っていて、できるだけ分かりやすく話すように心がけている。
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2	1	・児童発達支援センターに通っていた子どもや保護者には、おひさまの夏祭りにお誘いしている。放課後等デイサービス事業としての行事は実施していない。
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	0	0	・マニュアルを策定し、支援者に保管場所を伝えている。適宜マニュアルの内容も確認していく。
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	0	・年2回避難訓練を行い、防災や避難経路等に関する見直しを行っている。
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	0	・研修としては実施していないが、支援者間で虐待に繋がらないように支援の振り返りを日々行っている。
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	0	0	・やむを得ない身体拘束に関しては保護者とやり取りした上で個別支援計画に記載している。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか				※該当児なし。アレルギー対応を要する児が在籍していた時は指示書に基づく対応を実施していた。
40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	0	・ひやりはつとや事故報告は適宜報告している。	